浜松市はままつ夢基金事業費補助金団体支援補助事業審査基準要領

(目的)

第1条 この要綱は、浜松市はままつ夢基金事業費補助金交付要綱第21条に定める委員会（以下「委員会」という。）による審議その他必要な事項について定める。

(審議)

第2条 委員会は、審議にあたっては、別表に定める浜松市はままつ夢基金事業費補助金団体支援補助事業審査基準（以下「審査基準」という。）に基づき、事業の必要性、公益性、効果性、整合性を評価する。

2 前項に規定する評価は、委員会の委員（以下「委員」という。）により、審査基準に定める項目ごとに評価するものとし、次の各号に定めるところにより補助金交付予定事業を決定する。

(1) 評価を行ったすべての委員の点数の合計が、最も高い評価をした場合の点数の合計の6割以上のときは、市長は、委員会が団体支援補助事業として採択することが適当であると判断したものとしてその意見を尊重し、補助金交付予定事業として採択することを決定する。

(2) 評価を行ったすべての委員の点数の合計が、最も高い評価をした場合の点数の合計の6割未満のときは、市長は、委員会が団体支援補助事業として不採択とすることが適当であると判断したものとしてその意見を尊重し、補助金交付予定事業として不採択とすることを決定する。

(3) 前2号の規定にかかわらず、審査基準に定める整合性の項目において整合していないと評価した委員がいる場合は、市長は、補助金交付予定事業として不採択とすることを決定する。

3 前項について、補助金交付予定事業提案団体と公私に係わらず近しい関係性を有する委員は、その者の評価に係わることができない。

(その他)

第3条 この要領に定めるもののほか、この要領の施行について必要な事項は、市長が定める。

附 則

(施行期日)

この要領は、令和5年4月1日から施行する。

(施行期日)

この要領は、令和7年4月1日から施行する。

別表 浜松市はままつ夢基金事業費補助金団体支援補助事業審査基準

項目 \ 点数	判断基準・配点		
必要性	市民、地域の課題を捉え、事業の必要性が認められるものであること	十分に認められる	4
		認められる	3
		あまり認められない	2
		認められない	0
公益性	事業が団体を構成する者以外の者に対しても利益を供すると認められるものであること	十分に認められる	4
		認められる	3
		あまり認められない	2
		認められない	0
効果性	事業を行うことにより課題解決に繋がり、公益的な効果が見込まれること	十分に見込まれる	4
		見込まれる	3
		あまり見込まれない	2
		見込まれない	0
整合性	団体登録時の提案事業と申請事業の内容が整合していること	十分に整合している	4
		整合している	3
		あまり整合していない	2
		整合していない	0